

# 五省会ニュース

ご せい かい

NO.175

医療法人財団五省会  
医療法人 西能病院  
西能みなみ病院  
介護老人保健施設 みどり苑  
発行人 西能 淳



棚田白景 撮影：井上 学

## 新たな一年を迎えて

昨年一月、西能前理事長が永眠し、服喪のなかで迎える新年となりました。予期せぬ辛い出来事に、患者さんをはじめ、多くの方々にご心配をおかけしたことを存じますが、財団五省会の役員一丸となつての奮起と、関係各位の温かいご支援、ご高配のおかげをもちまして、無事に新しい年を迎えることができました。心からの感謝を申し上げます。

昨年三月の理事長就任の会の席上、「伝統と革新を両立させて今後の医療福祉に取り組みたい」と申し上げました。その言葉通り、昨年一年間は五省会という組織が積み上げてきた「伝統」の力をさまざまな場面で実感することができました。他方、この国の社会制度は、医療福祉に限らずあらゆる分野で大きな転換期にあり、今後は「革新」的な視点も必要とされるものと思われまふ。「両立」などと聞こえのよいフレーズを実践するのは生易しいことではないでしょうが、絶えず患者さん、利用者さんの声に耳を傾けながら、職員一同、本年も元気ががんばって参りたいと思ひます。

西能病院の新築事業は、今春の着工が目前となりました。「患者さんにとつても職員にとつても、すばらしい新病院が造り上げられること」という前理事長の宿願を実現せねばなりません。何とぞ各位のご支援をお願い申し上げます。

年頭に際し、平成二十三年度の目標を記します。

「思いやりと品位を大切に、仕事に取り組む」

「日々の業務を見直し、常に改善、前進させる」

「創立五十周年を前に、五省会の役割と責任を再確認する」

今年、未来を見据えて、医療や介護という私たちの仕事の意義や自分を見つめ直す一年としたいと思います。そうすることが、来春の創立五十周年と新西能病院オープン以後の五省会の将来を切り拓いてくれるものと信じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 健康 セミナー 42

## 糖尿病のリスク ないですか？

西能みなみ病院 内科医師

石原 元

### ● はじめに

2007年のデータで、糖尿病が強く疑われる人890万人、糖尿病の可能性を否定できない人1320万人。この数は今後増えることが予想されます。

日常診療での経験から、あえて学問的でなく、主に糖尿病でない人（まだなっていない人）向きにお話します。

### ● 血は水よりも濃い

ことわざ本来の意味は別として、糖尿病になる・ならないに「血」の要素はかなりあると日常



診療で感じています。「片親が糖尿病なら子どもはこれこれの確率で糖尿病になる」とはいえませんが、しかし、両親ともそうなら、自分もいつかはと覚悟して、リスクを減らす努力をして下さい。

といっても、糖尿病の方が上の世代（親だけでなく、その兄弟姉妹）

にいたなくても安心できません。糖尿病の家系ではあるが、たまたま発病しなかっただけかもしれません。

そこが、糖尿病が生活習慣病でもあるゆえんです。戦後の生活習慣の変化は、「モータリゼーション」と「飽食の時代」、つまり、「運

動不足」と「食の欧米化」です。高齢者ほどこの生活習慣にさらされた時間が少ないのですが、時間の経過とともに、高齢者の糖尿病が増えています。

同様に、家系的にリスクのなさそうな方でも、この生活習慣にどっぷりとはまれば糖尿病になりやすいということなのです。

### ● では、どうするか？

「身内に糖尿病があれば、なおのこと、身内に糖尿病がいなければ、それなりに」生活習慣を見直し、「からだを動かす」《腹八分目》に、が基本です。

### 《からだを動かす》

あえて言うなら、整形外科疾患を悪くしてまで、「からだを動かせ」とは言いません。また、寒い冬、からだを動かそうと雪の中、散歩するのは考えもの。膝・腰にも、血圧にもよくありません。滑って、転んで、骨折も心配。同じように、運動になるからと、雪かきをがんばりすぎるのもよくありません。一時的な血糖低下のツケが意外と大きくなるかも。ことほど左様に、危険のないよう、できる範囲でかまいません。日常の家事も運動です。

### 暮らしの中でからだを動かそう



### 《腹八分目》

運動できないなら、こちらをがんばってください。ザックリ、「後ろめたくない、他人に見られて恥ずかしくない献立を」と言えば正解でしょうか？ フライ・天ぷらOKです。お肉もOK。何を食べていけないということはありません。でも、山盛りになつていませんか？ 単品になつていませんか？ 肉が続いて、魚を忘れていませんか？ 昔ながらの和食なら堂々と食べてください。間食も同じこと、食べ終わつた後、「食べ過ぎた」とならないように。



● 果物・野菜、少し注意を

外来で、「食べ過ぎてない」と言われる割に、具体的に話をお聞きするとギャップが大きいのが果物。りんご・みかん・干し柿など、おいしいです。ビタミン・ミネラル豊富です。でも、糖質もたっぷり。たとえば、りんごなら1個まるまる食べられます。でも、食べ過ぎです。患者さんには、意識をもってもらう意味も含め、「りんごは、1日4分の1個」と言っています。また、野菜といつても、ジャガイモ、サツマイモ、かぼちゃなどは、別です。戦時中主食に代用されたことから、栄養素としてはお米に近いと考えて下さい。焼き芋を食べれば、野菜というよりおにぎりを食べたことになります。

● おわりに

日常的に体重の増減をチェックします。体重が増えれば、食べ過ぎです。適正体重が維持されている、太っている人がやせた、ならば、その生活習慣は及第点です。とはいえ、がんばっても、なる時にはなる糖尿病、早期発見が大切です。市の検診（メタボ健診）には糖尿病の項目もあります。日常診療では、健診や一般採血でまたま見つけることが多く、自覚症状がきっかけになることはあまりないという印象です。しかし、私が診断した直近の例は、「やせた」と言ってこられた方です。口渴・多飲・多尿・体重減少・易疲労感といった自覚症状がありましたら、受診をお勧めします。

あなたの生活習慣チェック

- ① 健康診断は定期的に行っている
- ② 太りすぎていない
- ③ お酒を飲みすぎしていない
- ④ 喫煙していない
- ⑤ 規則正しい生活をしている
- ⑥ 睡眠不足ではない
- ⑦ 十分休養を取っている
- ⑧ 趣味などを楽しんでいる
- ⑨ 健康的な生活に関心がある
- ⑩ 塩分・糖分を取りすぎない
- ⑪ 腹八分目を心がけている
- ⑫ 運動する習慣がある
- ⑬ なるべく階段を利用している
- ⑭ 速足で歩くようにしている

「はい」の数が多いほど、生活習慣が改善されています。継続が大切なので、ときどき、チェックしてみよう!

カルテの余白

五省会のドクターを紹介します

わが家の末っ子



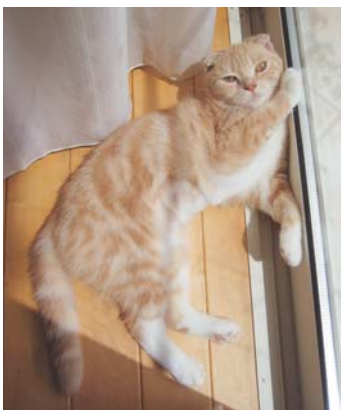
西能病院 整形外科医長  
あおき まさと  
**青木 雅人** (41歳)

得意分野	脊椎脊髄病外科
趣味	スポーツ観賞
スポーツ	テニス
好物	ビール

昨年春、家族が増えた。名前はマロン。薄茶色、縞模様のスコティッシュフォールドで、名前のごとく、垂れた耳がとても愛らしい猫である。子どもが生まれたときのように、妻といろいろ名前を出し合うがどれもピンとこない。そのとき末娘が「マロンがいいんじゃない」と。うまい！ こうして娘？が一人加わった。

最近膝がさびしいと思ったら、中高学年となった息子たちがリビングを離れ、自室で過ごすことが多くなっていった。また、思えば自分の子どもころ、家には犬、猫があり、受験勉強の時にいつも膝の上にはシャム猫のミイで、とても気持ちが癒された。そんなわけで猫を飼うこととした。狙いは的中した。リビングに活気が戻り、というか、マロンがいるところに子どもたちが集まるようになり、我こそはと撫で、抱っこし、可愛がり、家がにぎやかとなった。いまではマロンはコタツや自分のハウスの中など、特に名付け親である末娘の目を避けるようにして、静かなところで寝る始末である。しかしときには、息子たちが机でノートを広げていると、その上に寝そべり、撫でてとばかりに喉を鳴らして甘える。自然と子どもたちの表情も和んでいる。何ともよくできた猫である。

手術で遅くなった日には、帰るとマロンが迎えに来てくれるというところも少なくない。今話題のメタボの徴候が見えてきたこともあり、晩酌（大好きなビール）を止めた私にとっても、帰宅後膝に入ってくるマロンは、疲れを癒してくれる大切な存在となっている。



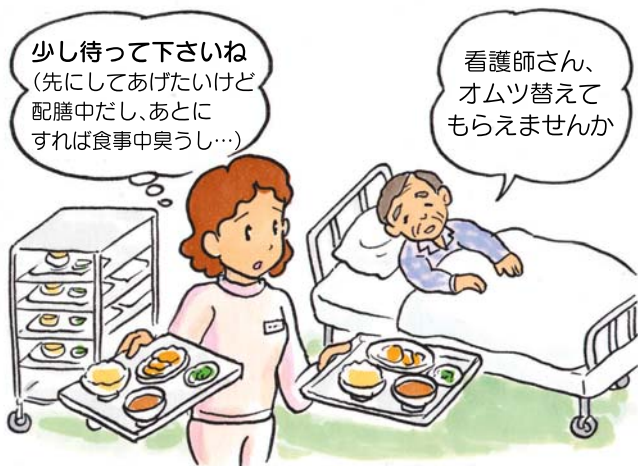


# 3施設合同で 第22回五省会研究発表会

## 日常業務の課題解決をめざして



(図1) どちらが先? 配膳とオムツ交換



12月19日、ボルファートとやまホールにおいて、医師、看護師、薬剤師、リハビリ・スタッフなど200人が参加し、「医療法人財団五省会研究発表会」を開催しました。13題の研究テーマは、いずれも日常業務の中で浮かび上がってきた疑問や課題で、調査・点検し、改善につなげ、さらに専門性を高め、医療介護の質的向上を図るものです。本誌では、患者さん、利用者さんに身近なテーマを取り上げた研究を紹介しします。

### 看護倫理研修会からの学び

看護職員が倫理的問題として取りあげた事例分析

西能病院 加藤清香

医療の高度化・複雑化、国民の医療に対する権利意識の高まりなどに伴い、看護専門職を取り巻く環境は変化し、複雑かつ困難な倫理的問題に直面するようになりました。そこで、西能病院では、丸一日をとおして看護倫理研修会を実施、看護倫理総論、看護者の倫理綱領、倫理原則の講義と、グループワークによる事例分析を行いました。例えば、「配膳中にオムツ交換の要求があった場合、配膳とオムツ交換のどちらを優先する?」という課題などを意見交換し、多様な考え方があふれることを学びました。(図1参照)

事前調査では、ほとんどの看護師が倫理問題で不安や疑問を持ち、業務を行っていました。内容としては、「患者の看護」が一番多く、次に「病院環境・システム」「医療・治療関連」などでした。研修後の調査では、「患者の権利や尊厳などを考慮し、倫理的配慮をもってケアすることの重要性を認識した」「とくに意識しなかったが、従来から倫理原則に基づいて行動していた」「事例分析によって倫理的感受性が高まった」などの意見がありました。

初の倫理研修会でしたが、6回に分散して実施、看護職ほぼ全員が受講することになります。これにより、倫理的問題を個人的な悩みとするのではなく、倫理綱領や原則からグループで分析、共有することで、看護職や病院全体の問題とし



食後、看護師や介護職員の介助で歯をみがき、うがいをする患者さん。口内も気持ちよくなり、患者さん自身の歯や口内への関心が高まります

ととらえ、倫理的視点をもちて判断や行動につなぐことができようになりまし

### 口腔ケア基準の作成

セルフケア困難な患者の口腔ケア

西能みなみ病院 杉坂早苗

口腔ケアとは、口の中の食物残渣物を取り除いて感染予防する意味と、積極的に刺激を与えることで口腔の機能低下を予防する意味があります。

西能みなみ病院では、セルフケアが困難な患者さんの口腔ケアを看護職・介護職で行っています。これまでセルフケア困難な患者への手技や手順を決めておら

ず、使用物品なども各職員に任せられていました。しかし、近年口腔ケア用品が充実したこともあり、これを効果的に使つて歯に関するトラブルを未然に防ぎ、口内炎や口腔乾燥などの改善を図り、おいしく食べていただくために、職員アンケートを取りました。いずれの職員も現行のケアに満足しておらず、さらに上をめざして「研修や勉強会等に参加したい」という意見が多くありました。

そこで、パンフレットやビデオを使って勉強会を実施しました。その結果、「口腔ケアのポイントがわかった」「ケアがしやすくなった」という意見があり、情報の提供や勉強会の継続が必要であることがわかりました。そこで、口腔内乾燥の強い患者、舌苔のある患者、開口困難な患者等に対し、標準的な方法で口腔ケアを行うとともに、新入職員に対しても効率のよい指導ができるように「口腔ケア基準」を作成しました。さらに、患者ご家族に対し、状態に合った口腔ケア物品の提示・依頼ができるようになりまし

### 演題および発表者

施設部署名	演題	発表者
1 西能みなみ病院 多職	西能みなみ病院における入院患者の変化について ～重症化する医療療養型病院～	総務主任 五十嵐均
2 西能病院 診療部リハビリ科	西能病院における作業療法の紹介	作業療法士 本郷 浩子
3 みどり苑 一般棟	面会者数調査を通じてわかったこと ～面会が在宅復帰に繋がる!?～	介護福祉士 奥野 浩文
4 西能病院 事務部施設	病院の建物管理と保全について	施設 労働員 石倉 喜一
5 西能病院 看護部3病棟	術後食の摂取率の現状把握と検討	看護師 高瀬 奈緒美
6 地域連携室	五省会地域連携室の現状と課題 ～各施設の窓口として～	社会福祉士 若林/竹林/細江
7 西能みなみ病院 看護部3病棟	申し送り短縮に向けて	看護師 花木 喜代美
8 西能病院 診療部2病棟	装着患者者に対する効果的な指導について ～ゲージメントセット装着方法の指導の現状から～	看護師 北川 護子
9 みどり苑 事務部	満足度調査を実施して ～みどり苑事務からできること～	事務員 菊元 加奈子
10 西能みなみ病院 看護部2病棟	セルフケア困難な患者の口腔ケア ～口腔ケア基準の作成～	准看護師 杉坂 早苗
11 西能みなみ病院 診療部リハビリ科	当院におけるリハビリテーション効果の検討 ～ADLの観点から～	理学療法士 牧野 由香
12 みどり苑 認知症専門棟	その人らしい快適な生活を求めて ～個人に合った排泄ケアへの取り組み～	介護福祉士 福澤 皇太浪
13 西能病院 看護部教育企画委員会	看護倫理研修会からの学び ～看護職員が倫理的問題として取りあげた事例分析～	看護師 加藤 清香

た。今後、さらに充実したケアを行っていきたいと考えています。

### 面会者数調査を通じてわかったこと

面会者が在宅復帰に繋がる!?

みどり苑 一般棟 奥野浩文

みどり苑では、面会簿に記入されない方もあるため、職員の目視により、9月にわたって面会者数を調査しました。調査期間の2階一般棟の面会者の延べ人数は、7175名で一日平均26・3人、1カ月に8回以上の面会があった人は、60名の利用者中平均20名でした。曜日別で見ると、週末が多く、次に入浴日である月・木曜日となっています。月別にみると、1月、3月、4月など年の初めや年度の変わり目に、挨拶や報告などで面会者が多くなっています。

面会者調査を始めたことで、面会者が誰の面会で、どういう問柄なのか意識するようになりました。また、面会の多い利用者や少ない利用者がわかり、利用者との話題が増えてコミュニケーションに役立ちました。

面会者数が月8回以上ある利用者をA群とし、月4回未満の利用者をB群として比較したところ、入所期間をみるとA群では1年6カ月未満の利用者の面会が多く、対するB群のほとんどは1年6カ月以上入所しています。調査期間中に8名が在宅復帰しましたが、A群に含まれた利用者は5名、内訳は6カ月未満5名、1年未満2名、1年6カ月以上1名でした。在宅復帰には、月8回以上の面会と1年6カ月未満の入所期間がひとつの目安と考えられます。ご家族には面会を増やしていただき、情報提供により安心して在宅復帰できるよう支援して、中間施設としての当苑の役割を果たしたいと思います。



ほぼ毎日、昼食の介助に来られるご家族もある



おいしく

地産地消で健康づくり

# ヘルシーメニュー

脱メタボ  
編

## 代謝を上げてメタボ予防

メタボ予防に食べ過ぎは厳禁です。代謝を上げるポイントは、カロリーを減らしてもたんぱく質は減らさないこと、そして、体の温まる野菜をたっぷり食べることです。寒くなるこれからの季節は運動量も減り、代謝が下がります。バランスの良い食生活で代謝が活発になる体を作り、寒い冬を乗り越えましょう。

### 〈メニュー〉

#### ☆ご飯

#### ★氷見牛と大根の土鍋煮

#### ☆きんぴらごぼう

#### ☆白菜と鮭の粕味噌汁

#### ☆りんご

1人あたり栄養価	
エネルギー	686kcal
たんぱく質	27.2g
脂質	15.0g
炭水化物	102.5g

### 〈レシピ〉

#### ★氷見牛と大根の土鍋煮 材料2人分

牛薄切り(もも)	70g	B	昆布出汁	200ml	
大根	400g		酒	大さじ1/2	
ネギ	15g		みりん	大さじ2	
A	にんにくすりおろし	少々	C	砂糖	大さじ1/2
	しょうがすりおろし	少々		しょうゆ	大さじ1/2
	酒	大さじ1/2		白胡麻	適量
	しょうゆ	小さじ1/2			



### 〈作り方〉

- ①大根は皮をむいて厚さ3cm程度のいちょう切りに、昆布は水につけて戻し、汁を200mlとる。
- ②牛肉は食べやすい大きさに切り、Aを加えて軽くもみこんでおく。
- ③土鍋に②を入れ火にかけ、牛肉を炒めて火が通ったら取り出す。
- ④土鍋にBを入れ火にかけ、沸騰したらCと大根を加え、蓋をする。
- ⑤土鍋に牛肉を戻し、さらに煮汁がなくなるまで弱火で煮て、味をしみこませる。
- ⑥煮汁がなくなってきたら最後に炒った白胡麻をたっぷりに加え、全体を混ぜて器に盛る。
- ⑦上からネギをたっぷりかけて、お召し上がりください。

**みんなで作った貼り絵**  
西能みなみ病院では、入院中の患者さんのリハビリとして、また、単調な療養生活に潤いがあるようにと、ぬり絵や折り紙などを行っています。今年は、七、八人の方が協力して、誰もが子どものころに経験した貼り絵に挑戦しました。浦島太郎と桃太郎の絵で、童謡を□ずさみながらの作業でした。また、縦横90センチ×110センチと大きいので半日もかかり、おかげで、これをきつかけに会話も増えました。製作グループのひとり、金谷幸

西能みなみ病院

### リハビリ貼り絵製作グループ



ぽればれ

くゆつくり・おだやかに

ちょっと元気になる話

江さん(85歳)にお話を聞きました。「作るの楽しいですね。これを見るたび、きれいに貼ろうと一生懸命だったことを思い出しますよ。孫に、自慢もしました。次は金太郎を作りたいです」

金谷さんは、若いころから仕事が好きで、群馬の家政女学校で洋裁や和裁などを習い、自分のものは自分で作ったそうです。夫の転勤で富山に来てからは、編機でセーターなどを編み、多い月には五万円以上も稼ぎました。

六十歳のころ、屋根雪をおろしている最中に脑梗塞で左半身不随に。「あのとき死んでいればと思ったことは何度もありました。でも、今は小杉の孫が迎えに来てくれ、仏壇に線香あげてから、みんなで食事をするのが楽しみです」と。新聞を読んだり、パズルをしたり、金谷さんは入院中でも充実した生活をおられます。

〈写真説明〉私たちが作りました。石田みよるさん、鍛冶きよしさん、金谷幸江さん、志波和子さん、島津宗雄さん、杉安汐子さん、玉生のぶさん、永守董子さん、古守はや子さん、三鍋清範さん、和田敏雄さんと、リハビリスタッフ

## 職場での健康維持のために

西能みなみ病院総務主任  
五十嵐 均

過日、西能みなみ病院で、職場での「腰痛予防体操&手軽にできるリラククス法」の研修があり、参加しました。

最初に息を少しずつ長く吐き出す呼吸法を学び、続いて椅子に座ってできる腰痛予防体操をしました。次に、二人組になって、片方が手のひらを軽く握って相手の背中をリズムカルに叩きます。さらに両手の指を広げて交互に素早く叩きます。交替してそれぞれの動作を繰り返します。叩いてもらうと思いのほか気持ちよく、コリがほぐれるにつれてみんなの表情も和らいできました。

指導しているのは富山県国際健康プラザ、メンタルヘルスケア講師の滝上節子さん。近年、仕事上でストレスを感じる人が6割を超え、職場での心のケアは不調者の発生防止になり、コミュニケーションの活性化につながるということです。この研修も、中央労働災害防止協会による「健考改善支援事業」として実施されました。

滝上さんによると、大切なのはリラククスすること。頭と心のバランスを正常化させ、筋肉の緊張が緩み、呼吸がゆっくりになることで、心身の疲れが癒えます。これを意識的に行うことで、ストレス状態を最小限にとどめることができるそうです。また、休養は、生きがいのあるライフスタイルを創造するためにも大切なことでした。

私も、日頃同じ姿勢でデスクワークを行っているので、これらの方法を取り入れ、健康保持に努めようと思います。



ハートフル・ケア

**楽しく介護**

その21

**入浴②**

今回は前回に引き続き、〈入浴のための環境整備〉と〈介助のポイント〉について説明します。

### 〈福祉用具の使用〉

前回は浴室の改修について説明しましたが、工事をしなくても簡単に設置できる便利で安全な福祉用具があります。

まずは浴室内の椅子です。滑りにくく、高さを変えられ、衛生的な作りになっています。身体を洗うときや浴槽内に入る前に一旦腰掛けることができます。浴槽内に入れる小さな椅子もあります。浴槽から立ち上がりやすくなるもので、滑らないよう安全な仕組になっています。また、浴槽の縁に取り付けられる手すりや、浴槽の底に敷く滑り止めマット

も便利です。

これらの福祉用具は介護保険を利用すれば安価に購入できることもあるので、担当のケアマネージャーさんに相談してください。

### 〈入浴介助のポイント〉

実際に介護する時の注意ですが、入浴時は普段と違い衣服を着用しておらず、大変滑りやすい状態になっています。そのため、身体を抱えたり、支えたりする介助に細心の注意を払う必要があります。自分で行う際には、専門家に介助の方法を習ったほうが安全です。また、介護保険などを利用して、ヘルパーさんに手伝ってもらったり、通所サービスなどで入浴し、無理しないことも一つの方法です。

(みどり苑支援相談員 長嶋千尋)



みどり苑で実際に使用している福祉用具

診療科	平日診療(月～金)						休日診療(土・日・祝)		
	時間	月	火	水	木	金	時間	土	日・祝
整形外科	午前 (8:30～11:30)	市村 和徳 信清 正典 青木 雅人	根塚 武 橋口 津 堂後 隆彦	仲井間 憲成 川口 善治 他1名(交替制)	根塚 武 仲井間 憲成 他1名(交替制)	市村 和徳 松下 功 信清 正典	午前 (8:30～11:30)	市村 和徳 信清 正典 堂後 隆彦	交替制 西能 健 (第3日曜)
	午後 (4:00～6:30)	堂後 隆彦 根塚 武 他1名(交替制)	仲井間 憲成 信清 正典 青木 雅人	市村 和徳 松下 功 橋口 津	根塚 武 (～6:00) 橋口 津 堂後 隆彦 ★スポーツ整形も 行います	市村 和徳 青木 雅人	午後 (1:30～4:30)	根塚 武 橋口 津 青木 雅人	交替制 西能 健 (第3日曜) ★スポーツ整形も 行います
内科	午前 (8:30～11:30)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	松井 祥子 (呼吸器/～11:00) 森田 弘之 (消化器/11:00～)	森田 弘之 (消化器)	大黒 正志 (老年病)	午前 (8:30～11:30)	鈴木 庸弘 (消化器)	休診
	午後 (3:00～5:00)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	休診	午後	休診	休診
糖尿病 内科	午後 (3:00～5:00)	小林 正					都合により担当医が変更になる場合があります。 ホームページ「週間担当医師」で最新情報をご確認ください。		
眼科	午前 (10:30～12:00)				中村 友子				
麻酔科	午前 (9:30～11:30)			増田 明 (顔面・眼瞼瘻瘻外来) ★予約制					
リハビリテーション科		午前8:30～11:30 午後4:00～6:30					午前8:30～11:30 午後1:30～4:30		

時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:30							
内科	石原 元	森本 茂人	石原 元	石原 元	石原 元	石神 慶一郎	休診
リハビリテーション科	浅野 裕	浅野 裕	浅野 裕	浅野 裕	休診	浅野 裕	休診

- 入所サービス
  - ショートステイ
  - デイケア(通所リハビリテーション)
  - 居宅介護支援事業所
- ボランティア募集 月・火・木・金の午前・午後  
入浴後のドライヤーかけ/利用者様の活動サポート/話相手

## お知らせ

- 西能病院一年始の診療について  
整形外科・リハビリ科  
1月1日休診  
2日・3日診療 (8:30～16:30)  
内科・糖尿病内科・麻酔科・眼科  
1月1日～3日休診
- 求人案内  
看護師・薬剤師・社会福祉士  
募集中!  
平成24年春、西能病院移転新築に向け、上記の職員募集中。詳しくはホームページをご参照ください。

<http://www.sainouhp.or.jp/>

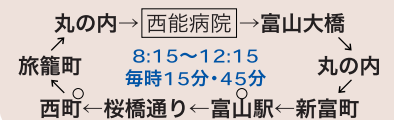
■ 西能みなみ病院クリスマス会  
12月9日、クリスマス会が開催され、日本舞踊研究会県支部華の会(笹井豊華城会主)のステージや、看護師らによるよさこい踊りを楽しみました。大泉逸郎さんの「これから音頭」では、手を横に広げたり、こぶしを突き上げたりする振り付けで、華の会メンバーとともに、患者さんもリハビリをかねていっしょに踊りました。



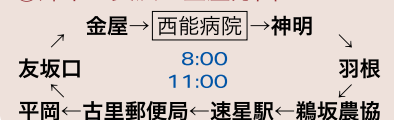
## 西能病院通院バス

月曜～土曜 午前運行(日曜、祝日は休み)  
○印は常時停留所、その他は臨時停車します。  
★詳細は受付でおたずねください

### ① 富山駅・西町コース



### ② 婦中・長沢・金屋方面



### ③ 呉羽・中老田・北代・田刈屋方面

